

令和8年度

京都府観光経営セミナー

レクチャー編

令和8年8月6/7/24/25日
木 金 月 火

体験編

令和9年2月8/9/18/19日
月 火 木 金

あなたの観光業の「これから」を、ともに考えましょう。
「レクチャー編」と「体験編」による計8日間の学術的・
実践的な講義で、確かな手応えを感じてください。

開催地 京都大学 吉田キャンパス

今こそ、観光業を 新しいベクトルへ。

参加希望者は、裏面の募集要項を参照の上、下記のWebサイトより
お申込みください。

<https://kbrc.jp/tourism/>
スマートフォン・タブレットからは、右のQRコードを
読み取ってください。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お申込み
お問合せ



一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター

京都府観光経営セミナー事務局 Tel. 075-753-3543 E-mail kbrc-office.k20@kbrc.jp

京都市左京区吉田本町36-1
(京都大学経営管理大学院内)

主催



公益社団法人

京都府観光連盟
Kyoto Tourism Federation

共催



京都府

協賛



京都大学経営管理大学院
経営研究センター

本事業は、京都府が厚生労働省の「地域活性化雇用創造プロジェクト」の採択を受け、観光入込客の増加等により事業拡大が見込まれる一方で、人手不足や非正規雇用の問題を抱える観光産業分野において、産業政策と雇用政策を一体的に推進することにより、正規雇用の創出を目指すものです。

このセミナーは**レクチャー編**と**体験編**から構成され、**両編の受講がお申込要件**となっております。

レクチャー編

令和8年8月 6日(木) / 7日(金) / 24日(月) / 25日(火)

各コマ 80分 全15コマ

統計、DXの基礎と観光業における実践例、組織経営、マーケティング、管理会計、観光人財マネジメント、経営戦略、ホテル・リゾート企業のマネジメント、観光地域戦略等に関する理論と実践を学んでいただきます。

理論 統計の基礎

理論 組織経営

実践 ホテル・リゾート企業のマネジメント

実践 未来予測から導くこれからの地域戦略

実践 観光地域マネジメントの最前線

理論 管理会計

理論 観光人財マネジメント

理論 マーケティング

理論 経営戦略論基礎

理論 DXの基礎

Agenda

※講師・テーマは変更になる場合があります。

8/6(木) 8:50 受付開始	9:20- 9:30	主催者開講挨拶	公益社団法人京都府観光連盟
	9:30-10:50	オリエンテーション	前川 佳一 京都大学
	11:10-12:30	理論 統計の基礎	松井 啓之 京都大学
	13:40-15:00	理論 管理会計Ⅰ	青木 章通 専修大学
	15:20-16:40	理論 管理会計Ⅱ	
8/7(金)	9:30-10:50	理論 組織経営Ⅰ	若林 直樹 京都大学
	11:10-12:30	理論 組織経営Ⅱ	
	13:40-15:00	理論 観光人財マネジメントⅠ	テイラー 雅子 大阪学院大学
	15:20-16:40	理論 観光人財マネジメントⅡ	
8/24(月)	9:30-10:50	実践 ホテル・リゾート企業のマネジメントⅠ	横山 健一郎 立命館大学
	11:10-12:30	実践 ホテル・リゾート企業のマネジメントⅡ	
	13:40-15:00	理論 マーケティングⅠ	若林 靖永 北海道科学大学
	15:20-16:40	理論 マーケティングⅡ	
8/25(火)	9:30-10:50	理論 経営戦略論基礎	前川 佳一 京都大学
	11:10-12:30	理論 DXの基礎	松井 啓之 京都大学
	13:40-15:00	実践 未来予測から導くこれからの地域戦略	高橋 佑司 株式会社リクルート
	15:20-16:40	実践 観光地域マネジメントの最前線	
	17:00-17:30	総括・まとめ	前川 佳一 京都大学

前川 佳一 京都大学

専門: イノベーション、サービス経営、観光

オリエンテーション

各講義の構成と狙い、受講生の貴方に学んでいただきたいポイントを紹介します。

理論 経営戦略論基礎

観光関連の事業やお仕事をされている貴方にとって「経営戦略」の視点で、事業を見つめ直すきっかけを提供します。そもそも戦略とは何でしょうか？経営に不可欠なんでしょうか？DXやAIなどのトレンドに対応するとしたら、経営戦略との関係はどう考えたらいいのでしょうか？

総括・まとめ

4日間のレクチャーでの学び(経営学の諸理論やDXの基礎と応用)を、各受講生が活用する構想を発表し、その実現性を講師や他の受講生とともに考えます。



松井 啓之 京都大学

専門: 計画理論、意思決定支援、ゲーミングシミュレーション

理論 統計の基礎

私たちは、日々、観光に関する現状や予測、トレンドなど、様々な観光に関するデータに触れています。これらの数字をどう理解し、事業にどう活かすのか。そのために必要な統計の基礎を学びましょう。

理論 DXの基礎

DX(デジタルトランスフォーメーション)をどう捉えていますか？すでに活用しているところがある、便利そうだがよくわからない、等、ご関心をお持ちのDXについて講義を行います。そもそもDXとは何かについて、デジタルとはから読み起こし、最近注目されているAIの活用までを対象とします。入口は情報学ですが、出口では実際のビジネス事例をご紹介します。



横山 健一郎 立命館大学

専門: ホテル・リゾート企業マネジメント

実践 ホテル・リゾート企業のマネジメント

ホテル運営は、「まちづくり」の営みにも似ています。総支配人は、ホスピタリティを軸に、仕入れや人材育成、地域連携など日々の判断を重ねながら、ホテルという「小さな社会」を動かしています。変化の激しい現代におけるホテル・リゾートの運営を、地域社会との共生といった視点から実践的に考えます。「総支配人」の立場から、人・自然・社会・経済の持続的なバランスを築く「実践知」を探索します。ホスピタリティを手がかりに、社会と未来を見つめる。そんな学びに関心のある皆さんの参加をお待ちしています。



若林 直樹 京都大学

専門: 組織行動論、人的資源管理論、ネットワーク組織論

理論 組織経営

観光事業にとって、経営基盤の一つは、ヒト(人材)およびその集まりである組織です。組織がうまく機能しなければ、人材がうまく働かず、よりよい業績や成果を上げられません。今年度は特に、観光分野での組織におけるやる気の向上とリーダーシップにおけるあり方について、議論したいと思います。特に、従業員の定着の観点から、従業員のやる気を考える必要があります。また、従業員のアイディアや貢献を引き出すリーダーシップのあり方も考えます。



若林 靖永 北海道科学大学

専門: マーケティング、中小企業論、批判的思考教育

理論 マーケティング

観光ビジネスが成り立つためには、どこから訪れる、どのような観光客をターゲットとするのか、を明確にして、その観光客が来なくなる、来て楽しかった、また来なくなる、というように、観光客視点で観光ビジネスを見直し改善し続けることが大事です。マーケティングとは、まさに顧客を理解し、顧客価値を創造・共創するプロセスであり、単にプロモーションを意味するわけではありません。デジタル時代、AI時代のマーケティングについて考えていきましょう。



青木 章通 専修大学

専門: サービス業の管理会計、ダイナミックプライシング

理論 管理会計

会計、経理と言うと取っつきにくいと思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、事業や経営のビジネスモデルと会計とは密接に結びついています。講義の前半では、会計数値を読み解く「数字の見方」について解説します。後半では、観光を含むサービス業界における管理会計の特徴や観光業界におけるダイナミックプライシングの現状を解説します。それはおそらく、経営改革やDXへのヒントになることでしょう。



高橋 佑司 株式会社リクルート

専門: 地域活性、観光地マネジメント、観光マーケティング

実践 未来予測から導くこれからの地域戦略

実践 観光地域マネジメントの最前線

観光は未来の地域経済を高める柱の1つですが、一方で新たな局面を迎えています。本講義では、JRC独自の「2040年観光未来需要予測」を読み解き、バックキャストの視点から今取り組むべき戦略を提示。最新の地域での生産性向上や高付加価値化の具体例を交え、持続可能性の高い実践的手法を考察します。



テイラー 雅子 大阪学院大学

専門: ホスピタリティ人材マネジメント、組織行動論

理論 観光人材マネジメント

観光産業において人材は中心的な役割を果たしていますが、その体系的な管理手法はまだまだ浸透しているとは言えません。この講義では、観光人材を日々の業務の中で育成するという視点から、実践的な人材マネジメント手法を検討します。



必要条件を満たした方には、(公社)京都府観光連盟会長および京都大学経営管理大学院経営研究センター長より受講証明書を授与いたします。
本セミナー中、あるいは受講後に、簡単なレポートを提出していただくことを予定しております。
テーマや形式については、オリエンテーションまたは講義の中でご説明いたします。

体験編

令和9年2月 8日(月)/9日(火)/18日(木)/19日(金)

各コマ
80分

全11コマ

レクチャー編での観光経営に関する学びをもとに、DX技術を応用し、観光業が直面する事業課題を考え、解決のプロセスを体験していただきます。

体験

システム開発演習



観光課題の解決プロセスを体験する

自身の事業を変革することを想定し、観光関連事業の経営・運営上の課題を取り上げ、DX手法を用いてソリューションを導き出すプロセスを体験していただきます。

体験

プロジェクト
マネジメント演習



観光サービスをマネジメントする

観光のサービス・プロダクトを作る「プロジェクト」を成功に導くには適切な「プロジェクトマネジメント」が必須です。プロジェクトマネジメントの世界標準である「PMBOK」を通じて、必要なプロセスや知識の全体像と実践における注意点を講義と演習により学びます。

体験

リアル課題演習



受講者のリアル課題を考える

観光事業の現場に見られる実課題について考え構想するために取り組んでいただきます。課題解決のためのヒント(観光施設のDX事例、DX時代の情報セキュリティなど)や課題分析ツールをもとにグループで討議します。さらにそれを受講者個人の場合に当てはめて考察し、構想をつくってみます。

発表・総評



Agenda

※講師・テーマは変更になる場合があります。

2/8月 8:45 受付開始	9:15- 9:30	体験編オリエンテーション	前川 佳一 京都大学
	9:30-10:50	体験 システム開発演習Ⅰ	
	11:10-12:30	体験 システム開発演習Ⅱ	
	13:40-15:00	体験 システム開発演習Ⅲ	村野 剛太、他
	15:20-16:40	体験 システム開発演習Ⅳ	東京海上日動システムズ
2/9火	11:10-12:30	体験 システム開発演習Ⅴ	
	13:40-15:00	体験 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	廣澤 健樹 ANAシステムズ
	15:20-16:40	体験 プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	
2/18木	11:10-12:30	体験 リアル課題演習Ⅰ	香山 哲司 NEW3コンサルティング
	13:40-15:00	体験 リアル課題演習Ⅱ	篠原 洋輔 4sidesB
	15:20-16:40	体験 リアル課題演習Ⅲ	前川 佳一 京都大学
2/19金	9:30-10:50	体験 リアル課題演習Ⅳ	
	11:10-12:30	まとめ 修了式 茶話会	前川 佳一 京都大学

観光事業の発展のため、今、何をすべきか、一緒に考えましょう

近年の苦難の時期を乗り越え、観光は復活の途上にあると言えるでしょう。この間も、テクノロジーは進化を続け、われわれの生活にも大きな影響を与えてきました。DX(デジタルトランスフォーメーション)、オンライン会議・講義、生成AIの進化など。

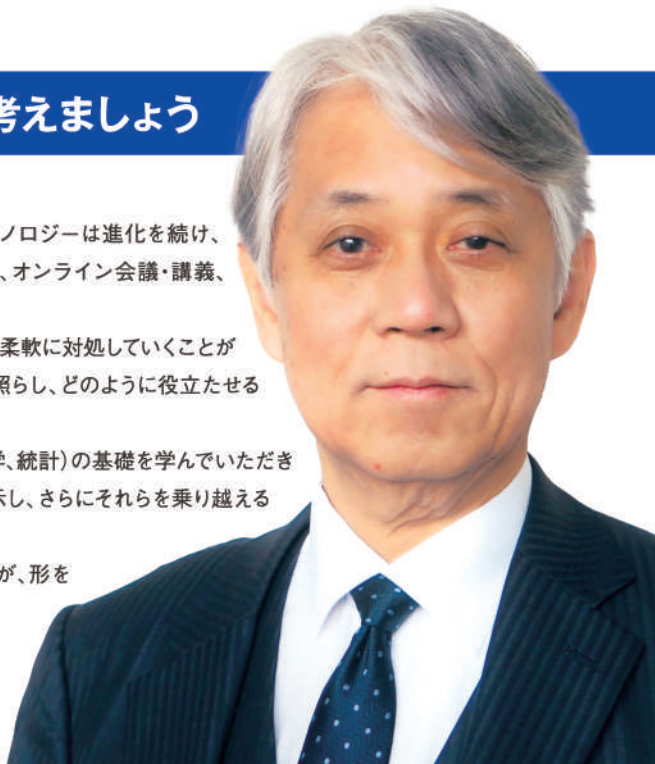
観光業界が発展し日本経済を支えていくためには、こうした最新のAI技術やデジタルアプリにも柔軟に対処していくことが求められるでしょう。ただ、これらにやみくもに飛びつくのではなく、観光経営の理論や現状に照らし、どのように役立たせることができるのかという工夫が必要なのではないでしょうか。

本セミナー前半の「レクチャー編」では、経営学全般(経営戦略、マーケティング、組織論、会計学、統計)の基礎を学んでいただきます。後半の「体験編」では、それらをベースとして、改革のアイデアを実践するうえでの課題を示し、さらにそれらを乗り越えるための演習や模擬体験も用意しました。

セミナー終了後には、あなたが現場に戻って取り組むべきそれぞれの方向性やノウハウなどが、形を現しはじめることと確信しています。

前川 佳一

京都大学経営管理大学院 客員教授



体験編 担当講師紹介 / 講義概要



前川 佳一 京都大学

専門: イノベーション、サービス経営、観光

オリエンテーション

体験編各講義の構成と狙い、受講生の皆さんに学んでいただきたいポイントを紹介します。

まとめ

「体験編」を振り返り、また「レクチャー編」も含めて、受講生がセミナーを通じて得られた気づきや今後の自業務への反映について発表し共有します。

また、その発表をもとに各受講生が作成する「課題レポート」について説明し、後日提出いただきます。

村野 剛太

東京海上日動システムズ
(京都大学 経営管理大学院 客員准教授)

専門: 東京海上日動システムズ(株)デジタルイノベーション
本部長 東京海上グループにおけるDX推進

体験 システム開発演習

自身の事業を変革することを想定し、観光関連事業の経営・運営上の課題を取り上げ、DX手法を用いてソリューションを導き出すプロセスを体験していただきます。



廣澤 健樹 ANAシステムズ

専門: 航空系ITシステム開発のプロジェクトマネジメント

体験 プロジェクトマネジメント演習

観光のサービス・プロダクトを作る「プロジェクト」を成功に導くには適切な「プロジェクトマネジメント」が必須となる。プロジェクトマネジメントの世界標準である「PMBOK」を通じて、必要なプロセスや知識の全体像と実践における注意点を学びます。



香山 哲司
NEW3コンサルティング

専門: DX推進、情報セキュリティ:
醍醐寺におけるDX推進、
自治体・民間企業でのITインフラや
情報セキュリティの計画・実装支援

篠原 洋輔
4sidesB株式会社

専門: 企業等の経営戦略・事業戦略の
策定・実行支援、顧客価値創造支援、
人材戦略・組織力強化支援、
地域創生・まちづくり支援



体験 リアル課題演習

8月の「レクチャー編」の理論や、直前の「体験編」の開発演習を前提として、実際の課題を構想するために、以下の演習に取り組んでいただきます。
課題発想のためのヒント(観光施設のマネジメント事例、DX時代の情報セキュリティなど)や課題分析ツールをもとに、グループで具体的な実践方法などを討議いたします。



リアル課題演習でグループ討議した内容を全グループが発表。これに対し、すべての受講者や講師と質疑・応答することにより、理解度を深め、実用性を高めると共に、他の参加者の抱える課題やアイデアの共有から新たな気づきを得られます。



前川 佳一
京都大学

令和8年度

京都府観光経営セミナー

募集要項

本セミナーの目的・内容

「令和8年度 京都府観光経営セミナー」

- ・**セミナーの目的**:内外の急激な環境変化をチャンスと捉え、最新のAI技術やデジタルツール等を効果的に活用した事業経営を打ち出すことで、京都の観光関連事業をさらに飛躍・発展させる人材を育成します。
- ・**セミナーの構成**:観光経営に必要な知識を学び、日常の事業に活かしていただく「レクチャー編」と、各種デジタル技術を観光経営に導入する考え方や応用事例、活用検討を行っていただく「体験編」で構成します。

日時

・「レクチャー編(15コマ)」:

令和8年8月6日(木)・7日(金)・24日(月)・25日(火)

※欠席講義について、後日、講義ビデオを視聴できるよう準備予定。

・「体験編(11コマ)」:

令和9年2月8日(月)・9日(火)・18日(木)・19日(金)

開催形式・場所

対面講義・オンライン(Zoom)の選択制(ハイフレックス形式)

※対面での受講を強く推奨いたします。

対面講義会場:京都大学経営管理大学院内(〒606-8501 京都市左京区吉田本町36-1)

受講料

おひとり30,000円

受講対象者

主に、京都府内の観光関連事業者、およびIT技術者やソリューション提供者とします。

定員

20名(定員に達した場合には締め切らせていただくことがあります)

その他

- ・必要条件を満たした方には、(公社)京都府観光連盟会長および京都大学経営管理大学院経営研究センター長より受講証明書を授与いたします。
- ・本セミナー受講後に、受講者よりレポートを提出いただく予定をしております。テーマや形式については、開講時オリエンテーションでご説明いたします。

お申込・お問合せ

受講をご希望の方は、下記ウェブサイトより「申込フォーム」に記入、または「申込書の郵送」にてお申込み願います。

・ウェブサイト <https://kbrc.jp/tourism/> →スマートフォン・タブレットは

・お申込み(お問合せ)先

こちらから

一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター
京都府観光経営セミナー事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町36-1

Eメール: kbrc-office.k20@kbrc.jp

Tel: 075-753-3543

・締切:令和8年7月31日(金)



公益社団法人 京都府観光連盟
Kyoto Tourism Federation

KBRF